								1 /2	20 +	0 73	- 17 н	1177	~
事務事業	■サービス部		河川維持補修事業										
No./名 称	口支 援 部												
主管課	河川課	関連課	関連課 下水道課·総合防災課										
分野名	下水道•河川		·										
目標	雑農笠の姑	佐 ム 吟 さ	5. 洗泄竿の郷		: 毎頭により、水害もごも会・財産を立て								
(目標値)	護岸等の補修や除草・浚渫等の維持管理により、水害から人命・財産を守る。												
人口等の	データ区分		22年度		21年	Ę.		20年度		備考			
データ	人口		77,161人		176,669	76,669人		176,484人		各年4月	1日		
	世帯数	78	3,812世帯	78,131世帯				77,430世青	†	住民基本	本台帳)		
	事業の対象者数												
運営資源	決算値(千円)		31,879		14,248			57,343					
状 況	(国・県)												
	(負担金等)												
	(一般財源)		31,879		14,248	14,248		57,343					
	人員配置数		1.3		0.9			0.9					
	人 件 費(千円) 11,		11,182		7,911	7,911		8,130					
	協働の												
	パートナー												
事務事業	総事業費(千円)		43,061		22,159			65,473					
運営経費	市民1人当												
	りの経費(円)		243		125			371					
	対象者1人												
	当りの経費(円)												
ベンチマーク	団体名												
(県内外自治体													
や民間団体と													
の比較値)				<u></u>									
指標		評価	年度	21年度		22年度		23年度	24年	度	最終年	度(4	年度)
河川講習会・準用河川の修繕		0	目標値	5回 35r	n 5[35m		5回 35m					
◎目標を達成 〇目標に向かって前進 △横ばい ×後退			実績値	2回 55r	n 2[22m							
				·				· ·	· ·				

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件	費に削減余	地はないか。		②妥当性		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法 的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。				
	③有効性	事業の成果が行場合影響がある		るか。事業を休	止・廃止した	④公平性	受益	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。				
小事業名		H22決算値	評価	適切=〇	、要改善=△	(評価の視点を参り	震) =	⇒ 方向性		実・拡大 B:耳 合縮小 E:廃		○:改善・見直し
		31,879千円	①効率性	O ②妥当性	〇 ③有効	性 〇 ④公平性	0 =	⇒ ■ A	□В	□С	□D	□E
河川維持補修事業		事業の概要	準用河川	の護岸の補強・ 等のしゅんせつ 可川協会への),		·					
			①効率性	②妥当性	③有効1	生 ④公平性	-	⇒ □A	□В	□c	□D	□E
		事業の概要										
			①効率性	②妥当性	③有効性	性 ④公平性	-	⇒ □A	□В	□С	□D	□E
			①効率性	②妥当性	③有効1	性 ④公平性	-	⇒ □A	□В	□С	□D	□E
		事業の概要										
			①効率性	②妥当性	③有効1	性 ④公平性	-	⇒ □A	□В	□С	□D	□E
		事業の概要										
			①効率性	②妥当性	③有効性	生 ④公平性	-	⇒ □A	□В	□С	□D	□E
		事業の概要										

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)										
H22年度の課題	財政状況から施設修繕が計画通り実施されていないことから、今後、良好な維持管理を保持出来ないことが危惧される。									
課題解決のための取組	規定内の予算で、護岸の修繕を進めるため安全性を考慮しながら低廉な工法を検討した。									
未解決の課題	準用河川修繕計画に沿った修繕が多く残っている。									
今後の方針	修繕計画の数値目標はもとより、さらに施設の健全度を明確にし、修繕計画の数値目標を達成していく。									
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	Α	※ 口事業完了	課長名	河川課長 米木弘行					

個別事業の概要							
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評	価結果
		338	河川管理施設突発的維持修繕料	4,507	4,507	■適切	□見直し余地あり
		338	滑川維持修繕料	3,310		■適切	□見直し余地あり
	÷		神奈川県河川協会負担金	167		■適切	□見直し余地あり
	主な		準用河川等しゅんせつ業務委託料	3,000		■適切	□見直し余地あり
	個		年用河川維持修繕工事請負費 準用河川維持修繕工事請負費				
河川維持補修事	個別	1262	华用河川維付修繕工事請負負	25,000	21,000	■適切	□見直し余地あり
業	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	主な						
	な						
	個別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	主な個						
	な個						
	別						
	事						
	業						
						□適切	□見直し余地あり
	4						
	主な個別事						
	個						
	別						
	業						
 				1		□,≠r.	口目本に入りまり
						口適切	□見直し余地あり
	÷						
	主な個						
	個						
	別事						
	事業						
	木						
				1		□適切	□見直し余地あり
						니면에	ロ光風し水地の7
	主						
	主な個						
	個						
	別事						
	争業						
				1			